

情報提供年月日
令和4年3月2日

三次記者クラブ会員 様

送信者
庄原市 総務部 行政管理課
広報統計係 三戸（みと）
大田（おおた）
TEL0824-73-1159・FAX0824-72-3322

ロシア連邦によるウクライナ侵攻に対する抗議文の送付について

■趣旨

令和4年2月、ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に際し、ロシアのプーチン大統領から、核兵器の使用を示唆する発言がなされました。

ロシアによる軍事侵攻及び同大統領の発言は、世界の平和と安全を脅かす行為であり、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を希求する自治体として到底容認できるものではなく、庄原市民を代表し、抗議することとします。

■実施内容

令和4年3月2日、ロシア連邦プーチン大統領宛の別添抗議文を、在日ロシア連邦大使館に郵送しました。

お問い合わせ

庄原市総務部総務課総務法制係 電話 0824-73-1123

担当者：中廣、曾根田

ロシア連邦

大統領 ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

抗議文

貴国がウクライナへの軍事侵攻を断行し、核兵器の使用示唆による威嚇を行っていることに対して、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を希求する庄原市民を代表して、厳重に抗議する。

貴国の行為は、武力による一方的な現状変更により平和を望む人々の思いを踏みにじるものであり、国連憲章に違反する重大な行為であることは明らかである。

また、核兵器の使用に言及したことは、核の惨禍を繰り返す暴挙につながるものであり、核兵器の廃絶を世界に訴え続けてきた唯一の被爆国に存する自治体として、強い憤りを感じている。

今この時においても、戦火の中で多くの尊い命が失われ、平穏な生活が脅かされているところであり、貴国に対して、一日も早い即時停戦及び外交による問題の解決、さらには、世界各国と協調して核兵器廃絶に取り組むことを強く求めるものである。

令和4年（2022年）3月2日

広島県庄原市長 木 山 耕 三